世界史プリント(4－1)　　　　　　　　生徒番号(　　　　　)氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第9章　近代ヨーロッパの成立　1. ヨーロッパ世界の拡大　a. 大航海時代

①アジア方面＝[1 ポルトガル]が中心、王室の独占事業として実施

ア) 15 世紀中期　[2 エンリケ航海王子]が大西洋進出を奨励→[3 ジョアン二世　]のもとで本格化

イ) 1488 年[4 バルトロメウ＝ディアス]、アフリカ南端の[5 喜望峰　]に到達

ウ) [6 1498　]年[7 ヴァスコ＝ダ＝ガマ　]インド航路開発(→インド西岸の[8 カリカット]到達)

エ) [9 イスラーム]商人と競合しつつ[10 香辛料　]貿易を奪い、「海の道」交易の中心となる
→ポルトガルの首都[11 リスボン]の繁栄

1510　[12　ゴア　](インド)占領＝アジア進出の中心に
1517 中国貿易開始＝拠点として[13　マカオ　]に居住権獲得

1543　[14　種子　]島に漂着→日本との貿易([15 南蛮　]貿易)開始(～ 1639)

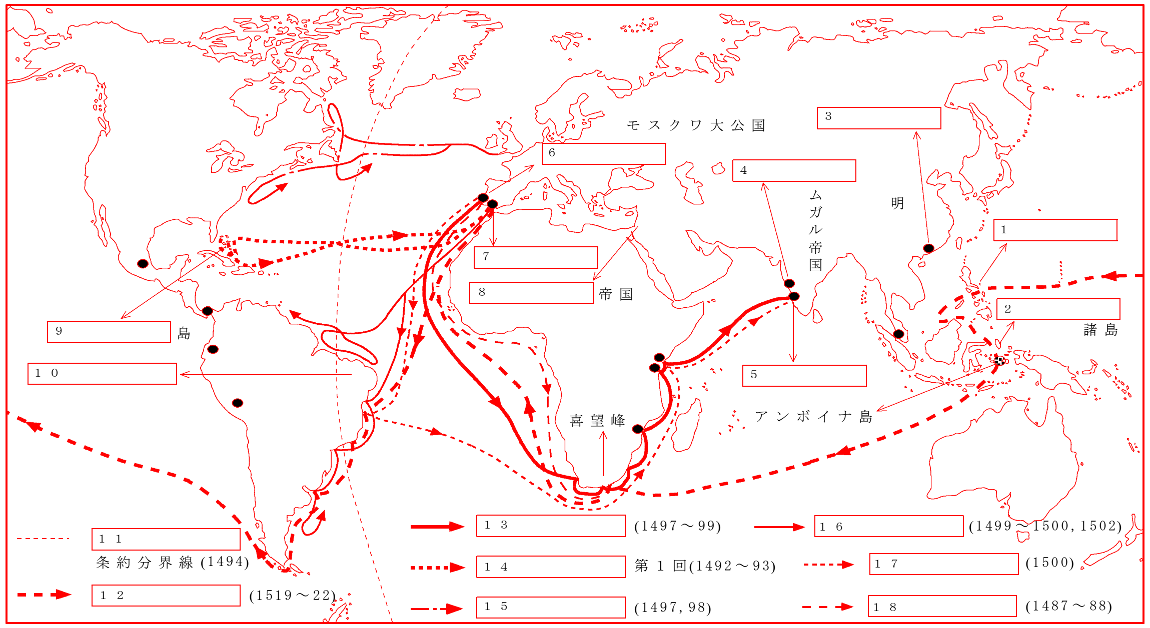
②　新大陸(＝[16 アメリカ　]大陸)方面

ア) [17 1492　]年、[18 コロンブス　]がバハマ諸島に到達(←スペイン[19 イザベル]女王の援助)
(イタリア[20 ジェノヴァ　]出身)

イ) 1500 年　[21 カブラル](ポルトガル)…[22 ブラジル　]に到達→ポルトガル領に

ウ) 16 世紀初[23 アメリゴ＝ヴェスプッチ]の探検→新大陸であることを確認＝「アメリカ」と命名
(イタリア出身)

エ) 1522 年　スペインの[24 マゼラン]…世界周航をめざす　　　　香料諸島
→[25 フィリピン　]で殺害される→部下、[26 モルッカ]諸島を経て、→スペインへ



ヨーロッパ人による航海と探検

③[27 トルデシリャス　]条約＝両国の勢力圏を[28 教皇子午線　　](45°　40W)で分断

> [29　15　]世紀末から[30　16　]世紀にかけ、ヨーロッパ人がスペインやポルトガルの援助をうけ、アジアへの航路をもとめ、世界各地に進出した。この時代を[31　大航海　]時代という。
> アジア方面は[32 バルトロメウ＝ディアス　]の喜望峰到達(1488)、[33 ヴァスコ＝ダ＝ガマ　]のインド航路開発([34 1498　]年)以降、[35 ポルトガル　]が中心となり進出した。
> これにたいしスペインは[36 1492　]年の[37 コロンブス]の西インド諸島到達以来、[38 アメリカ大陸　]方面に進出した。またスペインの[39　マゼラン　]の部下は　1522　年世界一周に成功、地球が球体であることを証明した。

④大航海時代の背景

ア) アジアの物資、とりわけ肉食の普及にともなう[40 香辛料　](胡椒など)の価格高騰
→オスマン帝国・北イタリアの地中海貿易支配→市民や中央集権をめざす君主、貿易による利益追求

イ) 十字軍・[41 国土回復運動　]などによる異教徒征服、[42 キリスト教　]世界拡大への使命感

ウ) [43　マルコ＝ポーロ　]「世界の記述」によるアジアへの興味の増大、地理的知識の広がり

エ) [44 羅針盤　]の普及・快速帆船の普及・緯度航法など遠洋航海技術の発展

オ) [45 トスカネリ]やピエール＝ダイイらの地球球体説など科学の進展

c. 古アメリカ文明

①2万年以上前　[46　アジア　]大陸から陸路移住、他の大陸と隔絶した文明が発達

②メキシコ・中央アメリカ＝前 1500 年ごろから[47 トウモロコシ　]栽培を中心とする農耕文化成立
前9世紀　メキシコ湾岸で[48　オルメカ　]文明＝泥と石の神殿・特殊な絵文字
↓
前2世紀　メキシコ高原でテオティワカン文明＝巨大なピラミッド状神殿
3世紀～　ユカタン半島(メキシコ南部)中心…[49　マヤ　]文明発達(4～ 10 世紀)
[50 ピラミッド　]状神殿・20進法・正確な暦・文字など発達
12 世紀～メキシコ高原…[51　アステカ　]帝国成立＝象形文字・彩文土器など
(首都:ティノティトラン＝現:[52 メキシコ　]市)
→ 1521　スペインの[53　コルテス　]に滅ぼされる

③アンデス山中(エクアドル～チリ)
前 10 世紀　[54 チャビン　]文化成立＝土器の使用
→しだいに都市文明に発展、灌漑による[55　トウモロコシ　]栽培の開始・リャマの家畜化
15 世紀後半[56 インカ　]帝国(都[57 クスコ　])
太陽崇拝　王は太陽神の化身として専制権力を持つ　→文字をもたない
巨大な神殿と灌漑など土木技術が発達。キープ(縄)による記録、脳外科手術
→ 1533　スペインの[58　ピサロ　]に滅ぼされる

④ [59　金・銀・青銅器　]など金属器は使用したが、[60　鉄器　]・車両は使用されない
馬・ラクダなど大型の家畜は用いない